

1 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」について

(1) ねらいについて

「初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る」ことをねらいに文部科学省より、昨年(2019年)の12月13日に発表された。2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて新学習指導要領が全面実施の予定である。

(2) 小・中・高等学校を通じての目標及び取り扱う内容・評価について

「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から目標を具体化し、小中高を通じて一貫した学習到達目標を設定。中・高等学校では「英語を用いて～することができる」という形式による目標設定(CAN-DOリスト)に対応する形で4技能を評価。我が国や郷土の伝統や文化について英語で伝えるという視点も含める。

(3) 英語教育のあり方に関する有識者会議について

英語教育改革実施計画について専門的な見地からその方向性の具体について検討する会議である。今年秋頃までに、ここで論議されたことが取りまとめられ、中央教育審議会に報告される。さらに中教審での検討を経て学習指導要領が改訂される。有識者会議の議事要旨、議事録に関しては文部科学省のホームページから閲覧可能である。

(4) グローバル化に対応した小学校外国語教育の枠組みについて

① 小学校中学年(活動型)

週1～2コマ程度で目標はコミュニケーション能力の素地を養う。担任を中心に指導。

② 小学校高学年(教科型)

週3コマ程度で読むことや書くことも含めた初歩的な英語の運用能力を養う。英語指導力を備えた学級担任に加えて、専科教員を積極的に活用する。1コマをモジュールで運用することも可能とする。

(例) 馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、家族、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりすることができる。

2 新たな英語教育のあり方実現のための体制整備について

(1) 英語教育強化地域拠点事業

小学校英語の教科化、中・高等学校の指導内容を発展させるなどの先進的な取組を支援。成果を今後の検討に反映させる。

(2) 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

【小学校英語教育推進リーダー】

国が外部専門機関(外国の公的機関等)と連携して指導力向上事業を実施。中央研修として7月に5日間、体験を通して楽しく継続可能な英語学習方法や主体的に英語を学習する態度、小学校における外国語学習、外国語活動の指導方法等を学ぶ。11月には実践交流や指導者としての技術を学ぶための中央研修をさらに5日間設ける。その後、各地域において推進リーダーは各小学校に1名程度置かれる中核教員を対象とした研修の講師を務める。

3 外国語活動教材“Hi, friends!”について

(1) 平成26年度までの対応

小学校 外国語活動

「平成 26 年 3 月末までに、配布を希望する小学校等、都道府県・政令指定都市教育委員会、また小中連携の観点から中学校等に、児童用教材、教師用指導資料、デジタル教材、音声 CD を配布」

(2) 平成 27 年度以降の対応

「平成 27 年度に使用する分の教材整備予算は確保済み。但し、デジタル教材の配布は行わないので各学校等で保管すること」

「平成 28 年度以降に使用する分については、外国語活動の実施状況等を踏まえて検討」

4 平成 25 年度「英語教育実施状況調査」の結果の概要（公立小学校）から

- (1) 小学校教員（授業を担当している教員，管理職も含む。非常勤講師は除く）の英語免許状所有者の割合..... 4.7%
- (2) 小学校教員（授業を担当している教員，管理職も含む。非常勤講師は除く）で、英検準 1 級等を取得している教員の割合..... 0.8%

5 中・高等学校の英語教員及び小学校教員の英語力の強化について

平成 23 年 6 月 30 日付「国際共通語としての英語力向上のための 5 つの提言と具体的施策」で、英語教員の英語力・指導力の強化の重要性が指摘されている。これを受け、平成 24 年度から各試験団体より英語教員を対象とする特別受験制度が提供されている。平成 26 年度から小学校の教員も対象に加わっている。文部科学省初等中等教育局国際教育課より外部試験の教員向け助成制度について通知（平成 26 年 3 月 31 日の事務連絡）。

6 その他

(1) 外国語活動における思考力・判断力・表現力とは（指導主事連絡協議会での協議題）

「どうすれば相手に自分の思いがより伝わるか、相手の思いをより理解できるかを思考し、もっている知識や技能を、場面に合わせて活用している、このような姿が、外国語活動における思考力・判断力・表現力を身に付けている具体の姿であると考える。」

「初等教育資料平成 26 年 6 月号」より

(2) 小学校外国語活動実施状況調査（予定）

平成 23 年度から全国の小学校で本格実施された小学校外国語活動の実態を把握・分析することにより、その改善・充実を図るとともに、今後の小学校外国語活動の在り方を検討するための情報収集を行う。

[調査対象] 児童調査（各学年から 1 つの学級を文部科学省で指定して抽出）
教員調査（管理職，学級担任または外国語活動担当者に対して抽出）

[調査期間] 平成 27 年 2 月～3 月頃を予定

(3) ネット上の資料

- ① 外国語活動教材“Hi, friends!”の「年間指導計画」及び「学習指導案」
http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1314837.htm
- ② 小学校外国語活動における評価方法等の工夫のための参考資料
http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/11_sho_gaikatu.pdf
- ③ 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300873.htm
- ④ 英語教員のためのポータルサイト「えいごネット」
<http://www.eigo-net.jp/>